*このテーマの放送はありません

マイ・ホビー●ヴァイオリン

家族での室内楽

中嶋嶺雄
（東京外国語大学教授・現代中国学）

40年以上もヴァイオリンを弾きつづけてきた
中嶋嶺雄さん。忙しい本業の合間をぬって
家族との室内楽がなによりの楽しみだ。

「忙中楽あり」家族の弦楽四重奏

亡父の二十三回忌をひかえて、先日、父の日記を繙いていたら、私が故郷の松本でヴァイオリンの鈴木鎮一先生に師事すべく松本音楽院に入学した日付が判明した。終戦直後の昭和二十三年一月十九日(日)、私の小学校四年生の冬であった。鈴木先生は先日満九十一歳になられたが、今日では世界に広がる鈴木メソッドのシンボルとして益々お元気である。

私は家庭が逆境に陥ったこともあって、高校生のときに鈴木先生の指導を離れたが、ヴァイオリンは大学オーケストラ、都民交響楽団と学生時代も続け、都合四十年以上も弾いていることになる。三十代、四十代は弾く回数も少なかったが、五十を越えた近頃は、仕事が多忙になればなるほど、「忙中楽(がく)あり」で、なんとか時間を見つけてはヴァイオリンを弾いている。腕前の方は一向に上達しないけれど、最近はプロ、アマの友人たちや学生たちと合奏する機会もかなり増えている。

そんな私なので、四人の子供たちもピアノやヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、クラリネット、トランペットなどとさまざまな楽器をひととおり演奏する。家族で室内楽を、という永年の夢も、なんとか実現しつつある昨今だ。

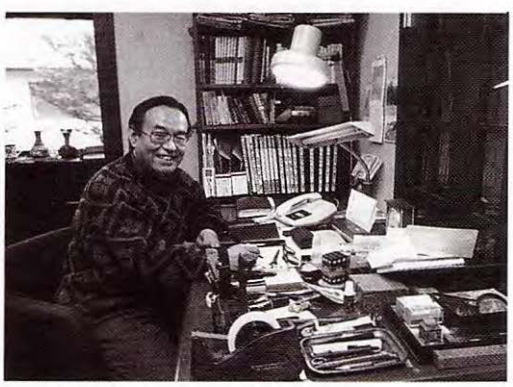
長男の啓雄(ひろお)は、ICU(国際キリスト教大学)のオーケストラでヴィオラに夢中になっており、この春から一橋大大学院でアメリカ外交史を専攻する。父親に強要されてときどきモーツァルトのヴァイオリンとヴィオラの二

それぞれに思い出のあるヴァイオリン

重奏にもつきあってくれる。チェロを習っていた次男の聖雄は昨春、受験勉強から解放されたので、東大オーケストラに入ってくれたらなあと親は願ったのだが、教養学部時代は遊びと勉強を両立させるのだと言って聞かず、それでも最近は自主的にレッスンに通っている。アメリカでの高校生留学中に、Who's who in Musicに選ばれたと喜んでいた次女の亜純は、新設の慶応大環境情報学部に入学することになったので、コンピューター・ミュージックをやってみたいと張り切っているが、そのためにもヴァイオリンの腕前は父を凌いでくれなければと思っている。ここに写っている親子の弦楽四重奏はアイネ・クライネ・ナハト・ムジークの一齣である。長女の科野(東外大モンゴル語学科)は、トランペットでは大学のジャズ研のメンバーとして活躍していたが、クラシックの方はもう一つ興が乗らず、父親にせがまれてピアノ伴奏をするのが精一杯の現状である。せめて、ヴェートーヴェンのスプリング・ソナタぐらいは父娘で弾きたいものだと願っているのだが、いつになったらかなうことか。

こんな次第で、わが家には弦楽器も何丁かあるけれど、とくに名器があるわけではない。しかし、愛用の弓の一つは、もう四十年も前に、豊田耕児氏(現ベルリン国立

演奏用に天井を高くしてある吹き抜け


多忙でなかなか整理できないのが悩み

音楽大教授）が上京して選んでくれたドイツの銘品であり、いまも大切に使っている。ヴィオラはチェコ製で、私がウィーンの専門店で選んだものである。鈴木ヴァイオリンの古いものもあるが、先ごろ、鈴木鎮一先生の末弟・士朗先生が特別注文でつくってくださった手造りのヴァイオリンがよく鳴りはじめたので、大いに満足している。

趣味の方は、こうして至極順調なのだが、本職の方は、ただただ忙しいばかりである。大学での公務のほかにも、執筆や講演に追われていて、机の周辺がなかなか整理できず、いつも悩んでいる。雑誌や本の整理も追いつかず、書斎も書庫も新築時にかなりのスペースをつくったつもりなのに、もう限界状況である。

わが家は、松本民芸調にしつらえてあるが、吹き抜けだけは、音楽の演奏用にもと思いきって天井を高くしてあるので、ここで弾いていると自分の音が腕前以上にきれいに聴こえる。設計は、安曇野の民家の再生や松本の民芸調レストランなどの建築で知られている降幡広信氏にお願いした。

昨年はとくに五月中旬のゴルバチョフ訪中から六月上旬の天安門事件の時期が超多忙であった。折しも五月十九日には音楽文化同好会のコンサートが赤坂プリンスホテルで催されることになっており、私がチーフで演奏することになっていたのだが、連日のテレビ出演などで練習時間がなく困惑していたが、NHK出演の合間にしばしの練習をさせていただいたのであった。

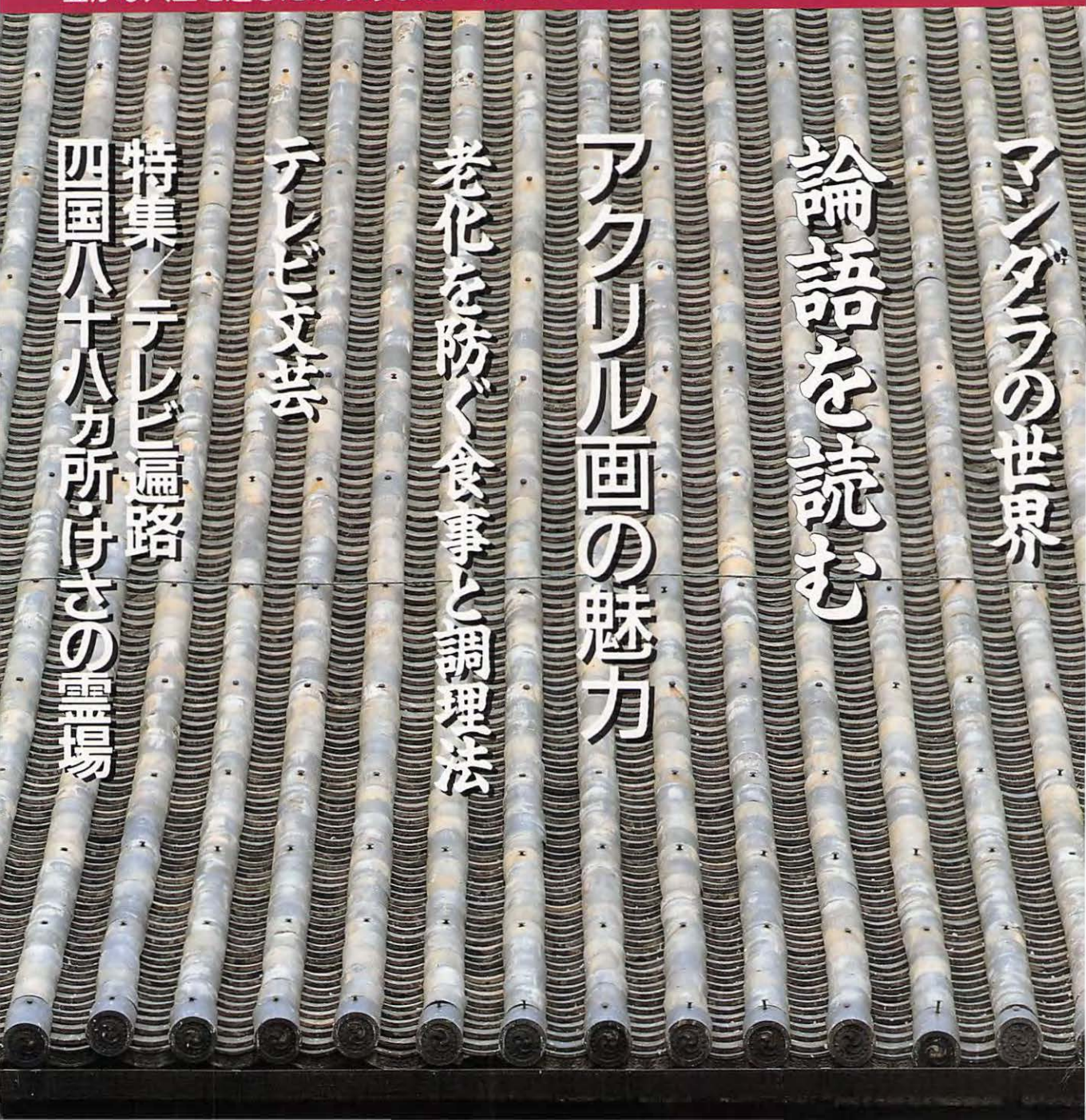
書庫もすでに限界状況だ

●なかじま・みねお＝昭和十一年生まれ。東京外国語大学教授。国際関係論・現代中国学。『北京列列』でサントリー学芸賞受賞。『現代中国論』など著書多数。

NHKテレビ
平成2年4月1日発行（毎月1回1日発行） 4月号 通巻1号

さわやかくらぶ 4

豊かな人生を送るためのあなたへのメッセージ



マンダラの世界

論語を読む

アクリル画の魅力

老化を防ぐ食事と調理法

テレビ文芸

特集／テレビ遍路

四国八十八カ所・けさの霊場